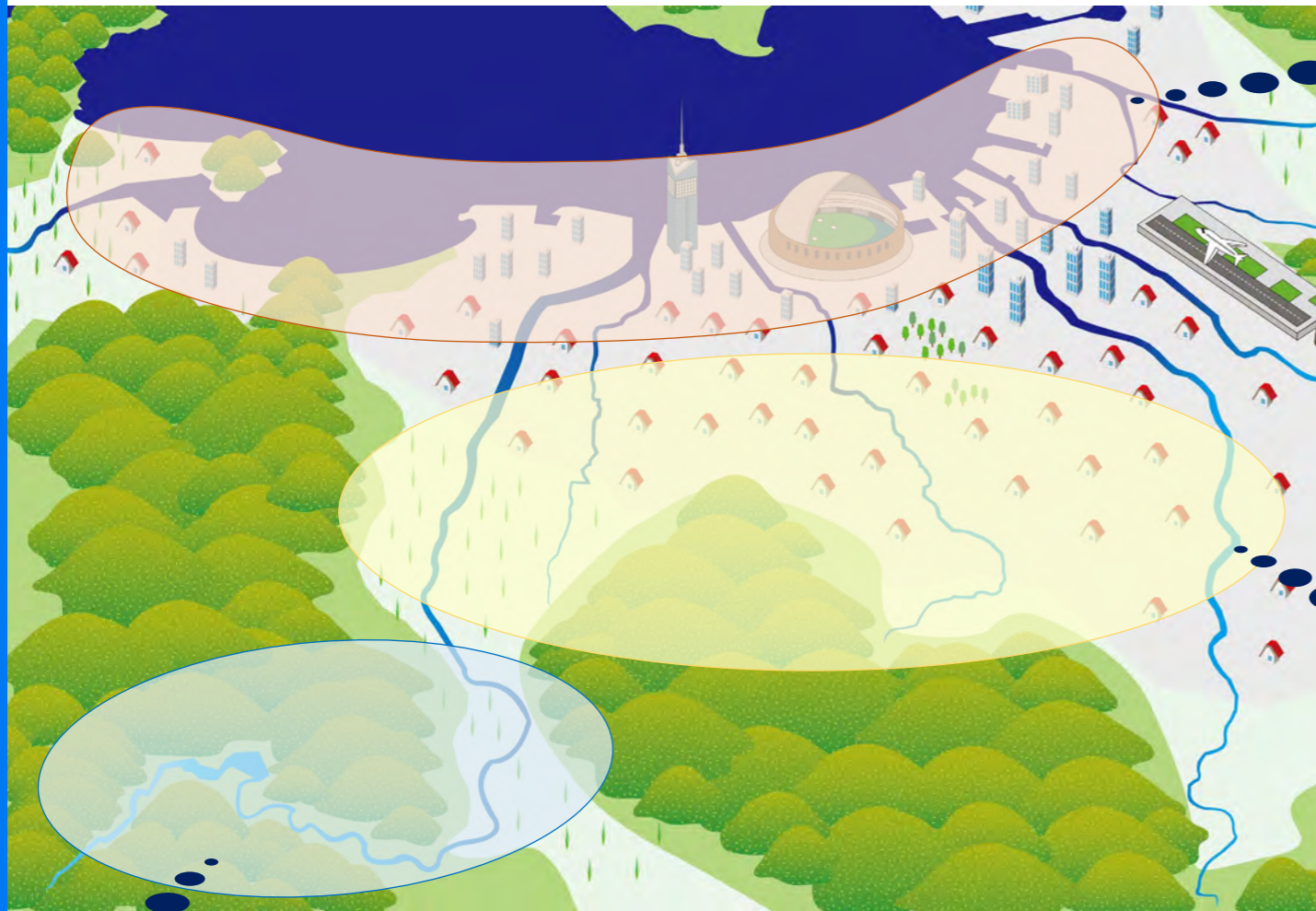


福岡市に生息する貴重・希少な水生生物

Search 貴重・希少種って？

河川は上流から下流へと環境が変化し、それぞれに特徴的な生き物が生息しています。福岡市は豊かな自然に恵まれていて、絶滅が危惧される貴重・希少種や植物群落が多く生息・生育しています。

■生き物の色分け



下流

海に近くなり、海水と淡水が混ざりあった環境（汽水環境）。塩分を含む環境でも生育できる塩生植物が見られ、淡水の場所とは異なった魚類や底生動物も多く見られます。特に潮の満引で干出する“干潟”には、希少な生き物が多く生息しています。



ハクセンシオマネキ

下流 中流 上流



→ ウェーピングするハクセンシオマネキ

干潟に巣穴を掘って生活する。オスは、この大きなハサミを振り回して、メスを誘う求愛行動をします。（ウェーピング）

ヨシ群落

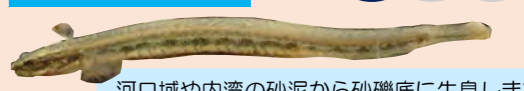
下流 中流 上流



流れの緩やかな水辺や海水に浸る河口域（干潟）に生育します。干潟に生息するたくさんの生物の住処を作る植物です。

ヒモハゼ

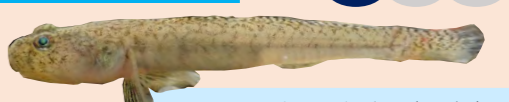
下流 中流 上流



河口域や内湾の砂泥から砂礫底に生息します。他の生き物が掘った巣穴に共生しています。

エドハゼ

下流 中流 上流



河口干潟のキレイな砂泥地に生息します。他の生き物が掘った巣穴を産卵場として利用します。

中流



カゼトゲタナゴ

下流 中流 上流



平野部を流れる小さな川の中流から下流、水路に生息しています。体の側面にある鮮やかな青いラインが特徴的な種。二枚貝に産卵します。

ミナミメダカ

下流 中流 上流



平野部の川、水田、水路の流れが緩やかな場所に生息しています。地域ごとに遺伝的な違いが大きいことが知られています。

上流



川幅が狭く、水の流れが速い環境。ツルヨシのような渓流に生育できる植物が優占し、流れの早い場所“早瀬”を好む生き物が生息しています。



コガタ/ゲンゴロウ

下流 中流 上流

植物が多く、浅く流れのない場所に生息しています。体の縁が黄色く縁取られているのが特徴。大きさ2cmほど。

ヤマトシマドジョウ

下流 中流 上流



川の中流の流れが緩やかな砂地に生息しています。尾ひれの付け根の点は2つです。

ハカタスジシマドジョウ

下流 中流 上流



博多湾に流れ込む川にのみ生息している福岡県固有種。人の生活の影響で絶滅する可能性が高い種（国内希少野生動物種）。尾ひれの付け根の点は1つです。

カネヒラ

下流 中流 上流



平野部を流れる川の流れの緩やかな場所や水路に生息しています。秋になるとオスは桜色（婚期色）になります。カネヒラ等のタナゴ類はアマガイなどの二枚貝の中に産卵する特殊な生態を持ちます。

カジカ

下流 中流 上流



川の上流の流れが速い“早瀬”に生息し、大きな石の下に隠れて生活しています。交尾後のオスは、石の裏に産み付けられた卵の世話をします。



→ 石の下に隠れるカジカ

アユ

下流 中流 上流



川の上・中流の流れがある場所に生息しています。石についた藻を食べ、体からはキュウリのような匂いがします。



→ アユが石の藻を食べた跡（はみあと）。

オヤニラミ

下流 中流 上流



川の中流の流れが緩やかな場所に生息しています。水際の植物など隠れ家となるものが多い場所が好きです。えらぶたの眼状の斑が特徴的。水際の植物の根などに卵を産み付けます。

マコモ群落

下流 中流 上流

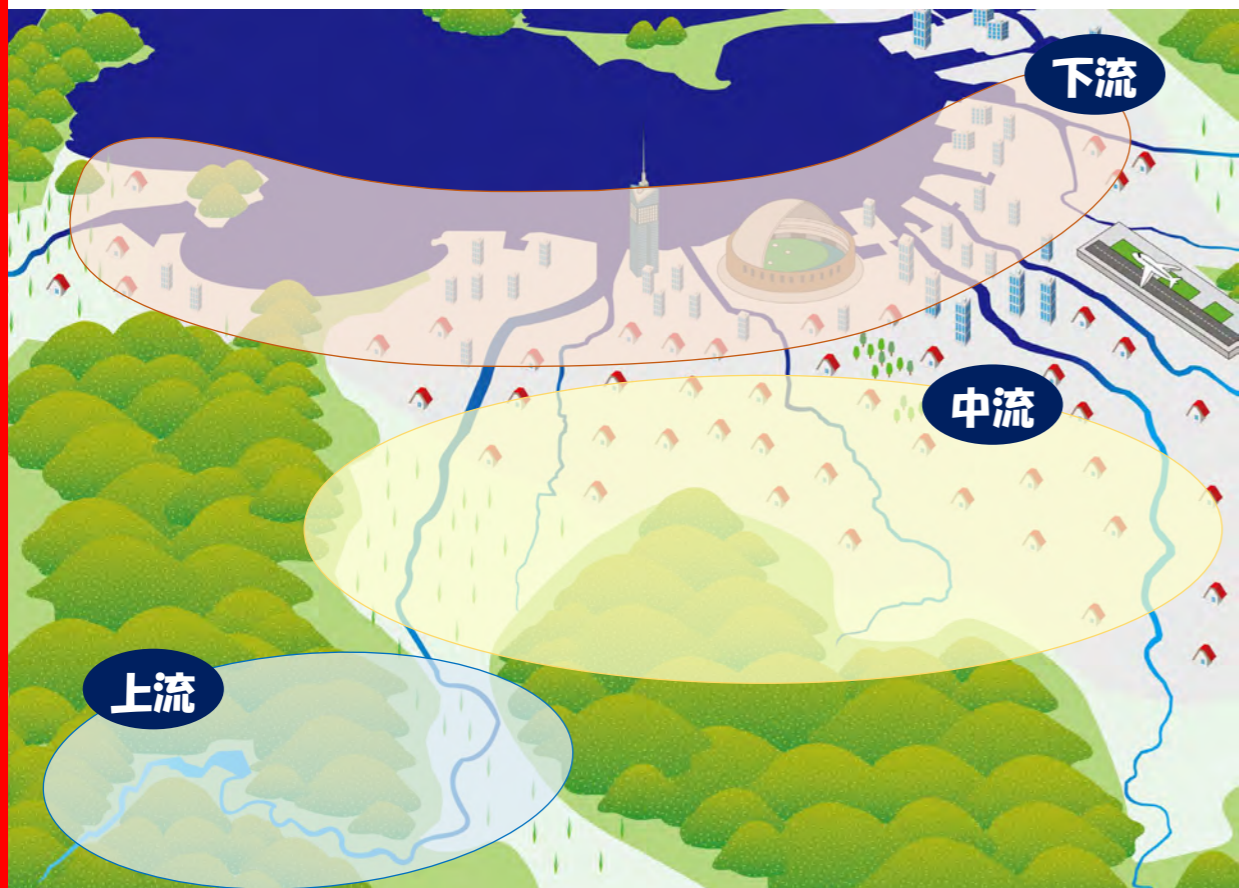


流れの緩やかな水辺やため池に生育します。大きな黄緑色の葉をつけます。昔、和菓子の「ちまき」はこの葉でくるんでいたとされています。

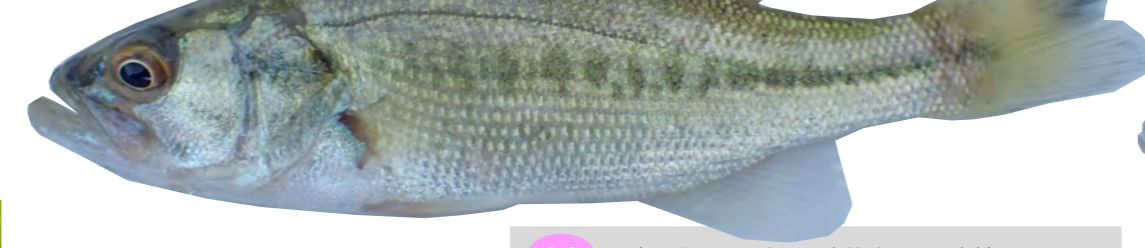
- 自然環境調査対象河川
- 多々良川
 - 御笠川
 - 那珂川
 - 樋井川
 - 金屑川
 - 室見川
 - 瑞梅寺川

外来種って？

昔からその地域にいる生き物のことを“在来種”と呼びます。在来種とは逆に、もともとその地域にいなかったのに、人の手などによって、その地域に持ち込まれた生物のことを“外来種”と呼びます。国外から持ち込まれた生物だけではなく、国内でも離れた場所から持ち込まれた生物も、外来種となります。



注 オオクチバス (ブラックバス)



下流 中流 上流

由来 原産は北米で日本では密放流により定着
危険 肉食性で魚類、甲殻類、昆虫類などを食べ、周辺の水生生物を食べつくします。 **特定外来生物**
場所 止水域からやや流れのある比較的水質の良い環境
特徴 口が大きく、体に一本の不明瞭な黒線が入ります。

注 フルーギル



下流 中流 上流

由来 原産は北米東部密放流により定着
危険 幅広い動植物をたべるため生態系への影響が大きいです。 **特定外来生物**
場所 止水域を好むが河川や水路にも生息
特徴 体の横縞とエラフタの斑が特徴

注 カダヤシ



下流 中流 上流

由来 日本の蚊を退治するため台湾から移入
危険 ミナミメダカと競合します。 **特定外来生物**
場所 河川では堰上の湛水域などの止水域
特徴 尾ひれの後縁が丸く、メスは、仔魚を産みます。

グッピー



下流 中流 上流

由来 観賞用水槽からの逸出、遺棄による
危険 在来種（淡水魚類）との競合、水生動物の捕食
場所 小さな川の流れの緩やかな場所や止水域
特徴 色鮮やかなひれを持つ個体が多い。メスは、仔魚を産む

ホテイアオイ



下流 中流 上流

由来 南アメリカ原産の水草で、福岡市の河川では点々と確認されています。
特徴 捨てられたものが各地で増加しています。

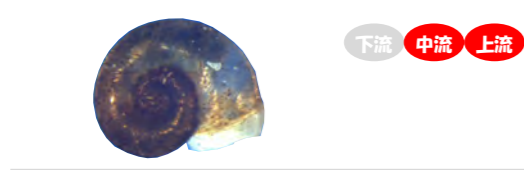
注 フラジルチドメグサ



下流 中流 上流

由来 アメリカ原産の水草で、福岡市の那珂川周辺で最近になって確認されるようになりました。
危険 密な浮島を作って在来種の植物を駆逐します。 **特定外来生物**

ヒロマキミスマイマイ



下流 中流 上流

由来 観賞用水槽の水草等に卵や成稚貝が付いたままの遺棄
危険 在来種（淡水性貝類）との競合・交雑
場所 流れが緩やかで、落ち葉の堆積した場所
特徴 殻径約2mmで小さく、平べったい

サカマキガイ



下流 中流 上流

由来 観賞用水槽の水草等に卵や成稚貝が付いたままの遺棄
危険 在来種（淡水性貝類）との競合
場所 止水域を好み、汚い環境でも生息できます
特徴 左巻きで、触覚が細く、ムチ状

メダカ飼育品種



下流 中流 上流

由来 飼育していた個体を野外に逸出・遺棄
危険 ミナミメダカとの交雑や在来種（淡水魚）との競合
場所 小さな川の流れの緩やかな場所や止水域
特徴 体色が橙色、黄金などの色鮮やかな個体が多いです。



特定外来生物

国外由来の外来種で、生態系や人の生命、農林水産業へ被害を及ぼすものが**特定外来生物**として法律で指定されています。何が規制されるのか、調べてみよう！

外来種と生き物の飼育について学ぼう！

外来種被害予防三原則 ~在来種を守るためのきまり~

入れない！ 捨てない！ 拡げない！

注1 外来種の問題点

- 在来種と競合します**
- 在来種とエサや住処を奪い合いあってしまいます。
- 在来種が食べられます**
- 肉食の外来種の場合、在来種を捕食します。
- 在来種と交雑します**
- 近縁の在来種と交雑して、雑種になるため、その地域の在来種の固有性を失わせます。

▶ **生態系に悪影響を及ぼします！**

注2 飼育している生き物も生態系に悪影響！

- 飼育個体は自然の生き物と違う！**
- 観賞用の種類や、自然のものと同じ種類でも別の地域のものは、外来種となり、自然界に出れば生態系に悪影響を及ぼします。
- 意図せず生態系を壊している可能性も！**
- かわいそうだからと飼えなくなった生き物を逃がすことは、その地域の生態系を壊すこととなります。
- 観賞用水槽の水草や石などを捨てると、そこに付いた小さな貝、昆虫、生き物の卵を同時に野外に捨てている可能性があります。

注3 在来種を守ろう！

- 外来種は・・・
- 入れない、捨てない、拡げない**
- 飼育している生き物は・・・
- 最後まで責任をもって飼おう！**

意図せず、一緒に逃がしているかも・・・

小さな貝、貝や魚の卵

もともといるボクたちのことも考えてほしいな・・・

飼えなくなったし、かわいそうだから逃がしてあげよう！元気でな～

- 自然環境調査対象河川
- 多々良川
 - 御笠川
 - 那珂川
 - 樋井川
 - 金屑川
 - 室見川
 - 瑞梅寺川